

支えあういのちと愛

～千葉の会だより～

6月号 2015. 6. 1

発行：千葉骨髓バンク推進連絡会
〒273-0021 船橋市海神 5-18-11 遠山方
TEL/FAX 047-431-5065
<http://www.marrows.or.jp/chiba/>

啓発活動

どきどきフリーマーケット 5月3日(日)～5日(祝火)

毎年恒例のどきどきフリーマーケットが幕張メッセを会場として行われ、それに合わせて献血併行登録会が実施されました。私が参加した4日は人出がやや少なかったものの、フリマの戦利品を手にした家族連れにパンフを配布して登録を呼びかけ、3名の方に登録していただきました。

日赤の担当の方ともドナー登録の増加に向けて、声掛けの方法など今後に向けた工夫を話し合うことができました。(小泉)

5日はこどもの日とあって、家族連れが多かったです。しかし、大型連休中とあって、例年より入場者も献血者も少ないように感じました。

県業務課の方も連日、応援に来て頂きました。前任の方と同じで気さくな方で、登録お願いできますか？と伺ったところ、2つ返事で「いいですよ」と言って登録していただきました。

今回の登録会で印象に残ったのは、お母様の説得で18歳の娘さんが登録して下さったことです。お母様が既登録者の方で、骨髄移植について正しい理解をお持ちの方でした。

これからは、年配の方には、「娘さん息子さんにお話して頂けますか？」と一言添えて親御さんからお子さんへの登録リレーが出来たらと思った登録会でした。(河口)



上：県職員、日赤職員、千葉の会員
下：フリマ会場風景



第25回 定期総会 5月10日(日)

千葉骨髓バンク推進連絡会の定期総会を船橋市勤労市民センターの特別会議室で開催しました。

定期総会では、26年度の活動報告、決算報告、27年度の事業計画、予算案の採択がされ、役員改選が行われました。

その中で、「ドナー登録者を増やすにはどうしたらよいか?」「ドナー助成制度を充実させるのはどうしたらよいか?」などの課題について議論が交わされました。

また、総会前に定例会を開催し、昨年に続き成田山コンサートを今年も開催する準備委員会を設置し、会報編集委員会、ドナー登録会委員等を選出し、総会終了後、恒例の懇親会でいろいろな話で盛り上がり長かった一日となりました。(遠山)

平成27年度活動方針

14年1月1日、造血幹細胞移植に関する法律、規則が施行され、1月15日に基本方針告示されました。日本赤十字社はドナー登録者へのリテンション、若年層への重点的、積極的なリクルートが業務に加わりました。これを受け同社から「骨髄バンク普及啓発パンフレット」が送付されました。今後の骨髄バンクへの具体的対応に注視したいと思います。

千葉県ではここ数年ドナー登録者が大幅に減っており、特にルムの登録者数が大幅に減っています。またここ数年ドナー一定年(55歳)を迎え登録が抹消される方が増えているため千葉県の実質登録者数は、ほとんど増えていません。今年も登録者増を図るため、献血ルームでの登録会の充実を更に推進します。

また今年が弊社設立25周年の年に当たり色々企画を考えています。皆様方のご支援を宜しくお願い致します。(梅田)

登録会報告

イオン幕張新都心 4月18日(土) 19日(日)

日本最大級のショッピングセンター「イオンモール幕張新都心店」の画で、献血併行ドナー登録会を行いました。

開始直後はお客様が少ないように感じましたが、徐々に往来が増え、店内が賑やかになってくると、献血に来られる方も増えてきました。日赤の方が「ギフトオブライフ」を受付に置き、献血に来られた方にドナー登録を声かけしてくださいました。姉妹揃って登録してくださいました方もいらっしゃり、18日の日だけで6名の方から登録していただきました。千葉県近隣からおいでになられている方もいらっしゃったようです。

ドナー登録の声かけでなく、会場入口正面の一番目立つ場所に設置していた献血の看板を移動し、骨髄バンクドナー登録会の大きな横断幕を貼らせてくださり、日赤の方々には本当によくしていただき、有難く思いました。(熊倉照美)



登録者	説明受講	説明員
18日 6名	0名	熊倉夫妻、山本(栄)、北村(美)
19日 3名	0名	柴谷、黒川、西島(一)



登録者	説明受講	説明員
22日 4名	3名	志田、松田、北村(美)

モノレールちば駅献血ルーム 4月22日(水)

千葉都市モノレール・千葉駅構内にある献血ルームでの登録会で、JR千葉駅と京成千葉駅に隣接している交通の便の良い場所です。

献血に来られる方、受付待ちの方、医師の問診待ちの方にギフトオブライフとティッシュを渡しなが、案内を行いました。

献血は予約の方も多く、切れ目無く、人がみえていました。その中で、午前中に3人の登録。3人目の方は、献血前からずっと考えている様子でしたが、献血がすんでから話を聞きたいと来てくれて登録となりました。

午後は説明のみで終了かと思っていたところ、問診待ちの女性に「よろしければ説明しますか?」と声をかけたところ、「お願いします」となり、登録を決めてくれました。

声をかけた中で、登録済の方が3名。登録していたが、1度も案内なく、55歳を迎えて終了となったという方が1名いらっしゃいました。(北村美和子)

その他の登録会報告

	登録者	説明受講	説明員
千葉商科大学 4月9日(木)	1名	4名	山本栄、河口
国際武道大学 4月27日(月)	0名	0名	尾木、河口
どきどきフリーマーケット			
5月3日(日)	6名	2名	北村夫妻、戸辺、西島(一)、梅田、松本、春田
4日(月祝)	3名	1名	溝口、尾木、志田、小泉、遠山、荒木
5日(火祝)	7名	2名	尾木、石橋、河口、山本(栄)、久保木
献血ルームフェイス			
5月18日(月)	0名	2名	柴谷、北村(美)
25日(月)	3名	0名	溝口、北村(美)
26日(火)	6名	4名	柴谷、北村(美)
帝京平成大学 5月19日(火)	9名	2名	河口、西島(一)、西島(一)、山本(栄)
21日(木)	0名	7名	

ドナーサポートダイヤル

0120-892-106

ドナー経験者さんが骨髄提供に向けて登録者の不安に対応します。
(認定NPO法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会)



贈呈品です。
上; パソコン
下; 2台のFAX

イエローシート贈呈品

当会が登録しているイオンモール柏店さんより平成26年度のイエローシートの合計が134,900円もあり、事務局、支部のFAXを1台ずつとパソコン1台を購入してきました。

贈呈品は、今後のボランティア活動に有効に使用していかうと考えております。また、毎月11日のイオンデーに参加し、多くの方々にAEONの活動を知ってもらいたいとも思っています。(遠山)



末梢血幹細胞移植(PBSCT)

同種末梢血幹細胞移植は、世界的に、また本邦においては血縁者間に限り 2000 年ころより広く普及しました。一方、非血縁者（骨髄バンク）では、我が国においては血縁ドナーの中長期の安全が確認された 2010 年に諸国より遅れて開始されました。本技術は、ドナーさんの自己血採血、全身麻酔、骨髄穿刺（腰骨の太い針をさして骨髄を吸引する）を必要とせず、患者さんにおいては移植後の血液回復が速やかであって、高齢患者におけるミニ移植を可能にし、また緊急に造血細胞移植を必要とするような事態等にも適しています。一方、ドナーさんの安全性や患者さんにおいてはGVHDが起りやすいという懸念もあり、ドナーさんの安全性に十分に配慮したマニュアルに従い、ドナーさんを選び採取するとともに、GVHDの予防法、治療法の改善をしていくことが必要です。末梢血幹細胞ソースには豊富な幹細胞および免疫相当細胞が含まれており、今後の血液疾患治療の発展において欠かせないものであり、大事な移植ソースとして育てていくことが必要です。（疾患・治療編 P-154 より抜粋）

ボランティア・会員募集

ボランティアとしてどなたでも、出来ることが色々あります。骨髄バンク＝登録だけではありません。さあ、あなたも始めてみませんか。何かやってみたくになったら、お気軽に連絡下さい。

TEL/FAX 047-431-5065

事務局 遠山まで

全国骨髄バンク推進連絡協議会設立25周年事業

設立 25 周年記念事業の目玉のひとつである日本縦断キャラバンが 4 月 24 日、沖縄をスタートしました。九州を北上し、福岡ではソフトバンク会長の王貞治氏、J2 アビスパの井原監督など歴代の骨髄バンク協力者の歓迎を受けた後、キャラバンカー「ゆいまーる号」は本州入り、5 月 31 日には 25 周年記念式典が開催される早稲田大学国際会議場（東京都新宿区）にやって来ました。

記念式典では映像グランプリ作品の上映、国際シンポジウム・市民公開シンポジウムなどが開催されました。そしてキャラバン後半のスタートは、幸運にも 6 月 2 日にわが千葉県から始まります。

千葉県では、習志野市役所（千葉県でいち早くドナー助成制度を導入）、千葉県血液センター（千葉港）、千葉県こども病院等訪問の予定です。特にこども病院ではチーバくんを交えて楽しい時間を過ごす予定になっています。

当日は多くの方にお会いしてキャラバンカーを見ていただき、骨髄バンクを知っていただけたらと思います。できれば、県内をもっとキャラバンカーで走りたいのですが、限られた時間で活動しなければならぬのが非常に残念です。当日の様子は、8 月号でお伝えします。（戸辺）

ドナー助成制度について 2

先日、日本骨髄バンクのHPより提供ドナーへの助成を行っている自治体を調べたところ(5/8 現在)、100 市ありその中には、ドナー本人と勤務している事業所の両方に助成する制度の市が、20 市ありました。また、埼玉県内の自治体が 63 もありました。これは、埼玉県議会でドナー助成制度が制定されたことが大きな要因と考えられます。

平成 27 年 4 月より、東京都でもドナー支援事業が開始されたことにより（現在、稲城市のみ）都内区市町村でドナー助成制度を制定する自治体が増えるのではないかと考えております。

自分としては、ドナー本人の助成は各市町村、ドナーの勤務している事業所及びドナー休暇制度の充実を千葉県が行う(自称)千葉方式を進めたいと思います。(しかし、申請手続きが難しいかもしれません)

我が千葉県でもドナー支援事業が一步でも前進するよう、今年度は、会員が各自自治体担当者等と協議を進めて行くこととなりましたので、各自自治体の担当者様対応をお願いします。

最後になりますが、自分は血液疾患の病気になり骨髄移植が必要になった時のことを考えて活動していますが、各自自治体の担当者様自分の子供、孫、親族が病気になったことを考えてみてください。(遠山)

会費納入のお願い

千葉骨髄バンク推進連絡会は、皆様からの会費とご寄付で運営しています。

皆様のご支援とご協力をお願い致します。

※毎月開催している定例会に持参していただいても結構です。もちろん定例会出席も歓迎です。

年会費； 3,000 円（学生 1,000 円）

振替口座名 千葉骨髄バンク推進連絡会

口座番号 00160-6-547168

日本骨髄バンクと千葉県の登録者数最新情報 (2015年4月末現在)

	全国 (累計)	対前号増減数	千葉県 (累計)	対前号増減数
ドナー登録者数	451,085	+892	13,310	-12
累計患者登録者数	44,770	+545	1,745	+19
累計移植例数	18,160	+202	570	+3

会員自己紹介 ～高橋 富美子～

柏市在住の高橋富美子と申します。入会は、平成5年1月頃だったと思います。前年の春に長男が重症再生不良性貧血を発症。夏に長女がドナーになり、移植により半年間の入院生活を送りました。

当時、長男は中学に入学して間もない頃で、丈夫に育っていましたので、突然の原因不明で難病指定されている血液難病になったことは、本当に思いがけない気持ちでした。治療後は、大きな拒絶反応もなく快復し、現在35歳で元気にしております。

私は、「出来る時に、出来ることを」のスタンスで、22年間続けてこられています。子供4人は自立し、結婚40年を迎えた2年前の春に、夫が急逝し60歳にして、初めてのひとり暮らしになりました。これからも、介護職を続けながら活動を通して、究極の自己満足を得ていきたいと、願っております。



ご家族との写真
女性3人の真ん中が高橋さん

患者・家族電話相談「白血病フリーダイヤル」

0120-81-5929

毎週土曜日 10:00-16:00

毎月第2, 4土曜日には

血液専門医も相談に応じます。

(認定NPO法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会)

ここからの寄付

ありがとうございます

向井 圭子 様	5,000 円
佐藤 秀哉 様	20,000 円
石崎 洋子 様	14,000 円(切手)
遠山 純子 様	2,000 円(切手)

新社会人通信 (その老) 吉澤耕介

早いもので新入職員を代表して宣誓を行った入庁式(長野市役所)よりすでに1ヶ月以上経ち、時の流れの速さを感じています。とは言うもののその後は肺炎でさっそく2週間療養を強いられて、実質4月の半分も出勤できませんでしたが(汗)

現在は、もうフルで働いていて毎日覚えることもたくさんで大変な面もありますが、風通しの良い職場なので楽しく過ごせています。まだ大して業務はこなしていませんが、それでも誰かのためになっていると分かるからやりがいも感じるし、「社会の一員」なんだという自覚を強く感じます。

また、家族との生活も6年ぶりに再開し、毎日ありがたみを感じています。母は毎朝のお弁当作り、姉の歯磨き指導、祖父は畑で野菜作り、父は肺炎入院費の立替(ボーナス返し)。千葉で1人暮らししていた時と比べると自由な快適さは減りましたが、こうしたつながりが、「吉澤家の一員」としての自覚を感じさせてくれます。いいスタート切れたんじゃないですかね。(吉澤)

今後(6~7月)の予定(お知らせ)

全国協議会設立25周年記念事業

日本縦断キャラバン2015 千葉県イベント

- ・6月2日(火) 習志野市役所、
千葉赤十字血液センター
千葉県こども病院訪問

ドナー登録会

- ・6月8日(月) 柏献血ルーム

定例会予定

日時 6月7日(日) 14時00分～

7月5日(日) 14時00分～

場所 船橋FACE5階 ボランティアルーム

<リレーつうしん>

私事ですが、人事異動で業務が変更になり、4月は休日もなく働いていました。そのため、約束していた活動等を多くの方に変わっていただいて、大変ご迷惑をお掛けしました。現在は、通常の勤務に戻ることができました。

日頃より、千葉の会の皆さんのバイタリティーのある活動には驚いています。私も皆さんに少しでも近づけるようにと思うのですが、田舎から都会に出るのに時間がかかるため、ついつい動きが鈍くなってしまいます。引き続き、微力ながらできる限りの活動をさせていただきます。

次は、戸辺さんにリレーします。(石橋)